

第5回福井市下水道事業経営戦略策定審議委員会

1	会議名	第5回福井市下水道事業経営戦略策定審議委員会
2	開催日時	平成28年10月19日（水） 9時25分～10時25分
3	開催場所	福井市企業局庁舎3階会議室
4	出席者	委員6名（南保勝、稲垣学、東山清和、伊藤健治、田村洋子、新道レイ子） 下水道部職員（下水道部長、次長、下水管理課長 他） （敬称略）
5	会議の内容および進行記録	【議事】 「下水道事業経営戦略（素案）」について

【質疑要旨】

市	「下水道事業経営戦略（素案）」について前回からの修正点を中心に説明。
委員長	感想・ご意見をお願いします。
委員	今後の見込みとして投資に対して、収益が望めない計画となっている。この中で、料金の見込みとして普及拡大部分でどのくらい増加するのか、また節水機器に普及や人口減少でどのくらい減少するのかという構図を明らかにできないのか。
市	それぞれを明確にするのは難しいが、算出基礎の内訳を示す中で、普及拡大の増分や節水機器や人口減少に伴う減分等を分かりやすく表していきたい。
委員	下水道事業は公共性の高い事業であり、費用対効果の少ないエリアの投資をしていくことに対しての考え方そのものを説明していく必要がある。
市	説明案を作らせていただく。
委員長	この後は、事務局と委員長とで修正案を考えて委員の皆さんにフィードバックしていくこととする。
委員	汚水処理人口普及率の推移のコメントが分かりにくい表現になっている。
市	文章の表現について検討させていただきたい。
委員	今後の事業費についても適切な見積もりをされているのか？豊洲や東京五輪のように大幅な変更はあってはならない。
委員長	事業費については、関心が高いところなので精査してほしい。

委員	汚水処理原価の数値が低いのは、長い間投資してきているため低いだけで、今後の数値としては上昇することについては論理だてて説明できるようにして欲しい。
委員	節水機器に関することが分かりにくい表現になっている。また、「見える化」について、広報だけでなく他のことも充実させていく必要があるのではないか。
市	分かりやすい表現に修正していきたい。
委員長	今日の議論の内容を欠席された委員さんにも説明していく。 また、市民に分かりやすい経営戦略になるよう仕上げに入っていきたい。